

集団的自衛権行使

「戦争する国」へ 暴走する安倍内閣

安倍首相は5月15日、首相の私的諮問機関である安保法制懇の「集団的自衛権の行使を政府解釈によって認めるべき」との答申を受けて、集団的自衛権の行使容認を政府解釈で強引に推し進めようとしています。さらに大阪市議会では、橋下・維新の会が自民党の「憲法改正の早期実現を求める意見書」を丸のみして採択しました。

「戦争する国づくり反対!」「憲法9条を守ろう」「集団的自衛権行使容認反対!」「秘密保護法の撤廃」と5月19日に淀屋橋で宣伝行動を行い、6月1日には約1200人の参加者で「6・1戦争への暴走ストップ! 御堂筋パレード」を元気に行いました。



6月1日、真夏を思わせる日ざしと暑さの中、続々と中之島公園・女神像のもとに集まる集会参加の仲間たち



戦争への道 誰も望まない

労働条件の大幅改悪 再検討求めたら「クビ」

「たたかかって必ず 職場にもどります」



子どもの笑顔が働きたい 一日も早く子どもたちと語り、遊びたい

東大阪市職労・東大阪市ちびっ子クラブ指導員労働組合

越智 康純さん 中山 洋美さん
(楠根たけのこちびっ子クラブ)

「すべてをリセット」で 大幅な労働条件改悪の通告

東大阪市の学童保育は、1989年に市の直営方式から地域運営委員会方式への民営化が強行されました。市は助成金を出しながら、運営は運営委員会に丸投げをするという異様な形態です。そんな中、楠根小学校の学童指導員が突然3月6日、運営委員会から「3月末で全員解雇」の通告を受けました。「一旦すべてをリセットする」とし、年収は半分近くに引き下げ、年休などを廃止する乱暴な就業規則を提示し、これに同意できない者は4月から採用しないというものです。

私たちは30年以上、この仕事に誇りを持って働いてきました。そういう思いを、紙切れ一枚で打ち砕かれたことは、非常に悔しく許すことができません。私たちは、不当解雇撤回たたかうことを決意し、大阪府労働委員会に不当労働行為救済申立、大阪地方裁判所に指導員としての地位確認を求める訴えをおこないました。

来年4月から学童保育の制度変更がおこなわれます。子どもたちが、生き生きと遊び生活でき、指導員が専門性を発揮し安心して働けるよう、不当解雇・労働条件改悪の撤回を勝ち取るためがんばります。東大阪市の責任を持った運営形態、公設公営の学童保育をめざします。必ず職場に戻ります。

打ち砕かれた指導員の誇り たたかう決意かためる

即座に拒否。運営委員長自ら「私ら運営委員会と指導員は、会社でいうたら経営者と従業員」と明言したにもかかわらず、全く不誠実な対応です。

3月31日朝、私たちが出勤すると、クラブ室入口に「お知らせ」と題し、採用する指導員8人の名前を書いた紙が貼られていましたが、私たち2人の名前はありませんでした。事実上の解雇通知です。